

手話による教育、聴覚障害者と聴者の共存をめざす

第31回

ろう・難聴教育研究大会のご案内

2008年7月26日(土)～7月27日(日)

大会テーマ：手話を基盤とするろう・難聴教育の専門性

主催 ろう・難聴教育研究会(旧TC研)

長い歴史的経過を経てやっと今、全国のろう学校で手話を取り入れた指導が広がっています。難聴学級でもそうした様子が見られるのではないのでしょうか。手話が肯定され積極的に使われる傾向は今後ますます強まるように思われます。しかし、手話を使っているからそれでいいとは言えず、その際、現場では当然、「手話のメリットを十分に生かした指導法の開発」という大きな課題に直面することになります。

「特別支援教育」の文科省・都道府県教育委員会による一方的行政的推進は、ろう学校の名称変更・統廃合問題に見られるように、当事者・現場の意向を無視し、ろう児・難聴児の集団教育やろう・難聴教育の専門性をおびやかしています。私たちはこのような困難にもかかわらず、ろう・難聴教育の専門性をさらに深め、あるいは革新していくことが大切ではないでしょうか。

この大会では、こうした課題の解決に結びつく講演テーマや分科会を設定しました。4つの分科会を設けたのは、参加者ができるだけ発言できる機会を増やし、お互いに生の声を出して学び合い、課題を共有することができれば、という意図がこめられています。

参加される皆様方が現場で悩んでいる問題、課題について、きっと何か見通しを持ってお帰りいただけるものと信じています。ぜひ、お誘いあわせの上、ご参加くださいますようお願いしています。

ろう・難聴教育研究会 会長 伊藤政雄

1 名称	第31回ろう・難聴教育研究大会
2 テーマ	「手話を基盤とするろう・難聴教育」
3 主催	ろう・難聴教育研究会(旧トータルコミュニケーション研究会)
4 期日	2008年7月26日(土) 9時20分受付開始～ 7月27日(日) ～17時00分終了
5 会場	日本大学文理学部百周年記念館・国際会議場・第2会議室 〒156-8550 世田谷区桜上水3-25-40 TEL 03-3329-1151

第31回ろう・難聴教育研究大会のご案内

- 1 期日 2008年7月26日(土) 9時20分～7月27日(日) 17時00分終了
- 2 テーマ 「手話を基盤とするろう・難聴教育」
- 3 会場 日本大学文理学部百周年記念館・国際会議場・第2会議室
- 4 交通 京王線 下高井戸駅あるいは桜上水駅下車、徒歩8分
- 5 参加費

		2日間参加	1日のみ参加	交流会参加	昼食代
会員	一般	4000円	3000円	2500円	1000円
	学生	3000円	2000円	2500円	1000円
非会員	一般	6000円	4000円	2500円	1000円
	学生	4500円	3000円	2500円	1000円

6 申込方法

(1) 7月18日までに①参加費等を下記(2)の郵便振替口座に送金し、②所定の「参加申込書」に記入、下記(3)(4)宛に、メールまたはFAXして下さい。[かならず①②の手続きをお願いします。]

*所定の「参加申込書」は、当研究会ホームページ www.deaf.or.jp/tcで取得できます。下記宛FAX、メールで請求することもできます。

FAX 03-3884-9582 メール tcymaeda@hotmail.com 前田芳弘

当会メールマガジンでもお知らせします。

メールマガジンの申し込み先 h-hasegawa@r3.dion.ne.jp 長谷川 洋

*送金と参加申込書を確認し、領収書兼参加票(はがき)をお送りします。

参加当日、受付に参加票を提示して下さい。

*郵便振替での参加費等の振り込みは7月18日までとします。それ以降は、当日、受付にてお支払いください(参加申込書は、送ってください)。

※ 当日も参加を受付ますが、受付の混乱を避けるため、できるだけ事前に参加申込の手続きをしてください。

(2) 参加費の送金先 口座番号 00110-2-314972

加入者名：ろう・難聴教育研究会(旧TC研)

(3) メールでの申し込み先 mamame2@mtc.biglobe.ne.jp 森崎 恵子

(4) FAXでの申し込み先 03-3579-8355 森崎 恵子

(5) 郵便での受付先 173-0005 板橋区仲宿35-7 森崎 恵子

(6) ろう・難聴教育研究会会員への加入のお誘い

年3～4回の会報、大会・小研究会の割引参加などの特典があります。

大会当日、受付で新規会員入会の手続きができます。会員になった方には、その場で大会参加費の減額分を返金します。

7 問合せ先 TEL 048-294-0369または090-6035-4686 矢沢国光

FAX 03-3884-9582 メール tcymaeda@hotmail.com 前田芳弘

8 プログラム

情報保障（手話通訳、パソコン字幕表示）があります。

7月26日（土）		午前は国際会議場と第2会議室に別れ、午後は国際会議場で行います。	
9:20	受付		
10:00	あいさつ		
10:10	分科会A（幼児部教育のあり方） ①「坂戸ろう学校幼稚部の実践」 ②「こんな幼児教育がろう学校でめ ぎせないか」 青木久子（青木幼児教育研究所）	分科会B（小学部での日本語指導のあり方） ①「J.COSSによる小学部児童の日本語文法評価とそれをふま えた文法指導の実践」 臼井なずな・木村加那恵（大塚ろう学校） ②「分かりやすい江副文法による日本語指導法」 江副隆秀（学校法人江副学園新宿日本語学校校長）	日本語力の向上は手話力がついている子どもにとっても依然とし て大きな課題。そもそも指導法に問題がないのか。効果的な指導 法に学ぶ。
12:30	ろう児である前に当たり前の子どもとしての の育ちを大切に、手話を使うからこそで きる幼稚部教育のあり方を探る。言語教育型 の幼稚部教育のパターンを根底から変える には……		
12:30	昼食		
13:30	「スウェーデンのろう教育に学ぶ」		鳥越隆士（兵庫教育大学教授）
15:10	人工内耳装用児が急増するスウェーデンのバイリンガルろう教育の現状を理解し、日本を考える。		
15:20	「魅力あるろう学校をつくるための経営」		
17:00	市橋詮司（東海医療福祉専門学校、元愛知県立岡崎ろう学校校長） ろう・難聴教育の改善は、夢や理念を語るだけではだめ。ろう学校の適切な経営が不可欠だ。教員の教育力を 最大限高め引き出す人事や学校組織、当事者と社会のニーズの把握と調整、行政の適切な支援と地域の教育力の 活用も問われる。在籍児童生徒数と大学進学率を飛躍的に伸ばした「市橋式ろう学校経営術」に学ぶ。		
17:00	終了（ろう・難聴教育研究会総会）		
17:30	交流会（～20:00）		会場は1Fロビー
7月27日（日）		午前は国際会議場と第2会議室に別れ、午後は国際会議場で行います。	
9:00	受付		
9:30	分科会C（最早期母子支援のあり方） 「私が行っている最早期母子支 援」南村洋子（大塚ろう学校） 新生児スクリーニングによって早期発見早 期教育が可能になった。しかし0歳からの母 子支援システムや支援内容がしっかり確立 されているわけではない。スタート時点の確 かなろう教育の姿を見つきたい。	分科会D（小学部での教科指導） 「わくわくする算数～手と身体を使い、子どもと 一緒に創る算数授業～」 何森和代（元川口市立小学校教員、元明星学園小学校教員） 「学力向上」を超えた「賢い子どもを育てる」教科授業が、ろう 学校でこそ実現できる。ろう学校現場からの「この単元を授業す るのに、面白いアイデアはありませんか」の問いに、何森先生が 40年の小学校算数指導体験を基に答える。	
12:00	昼食		
13:00	「手話言語の発達とその評価法」		武居 渡（金沢大学教育学部准教授）
14:50	好評だった「手話言語の発達」（昨年の大会）の続きと手話力の簡便な評価方法の解説		
15:00	フリートークの時間（新しい試みとして）		
16:50	議論の続き、感想・疑問・質問へのお答え、分科会報告、現場の悩み相談など、参加者のニーズにマッチした話し合いができる時間をみんなで作り出します。		
16:50	挨拶 17:00 終了		

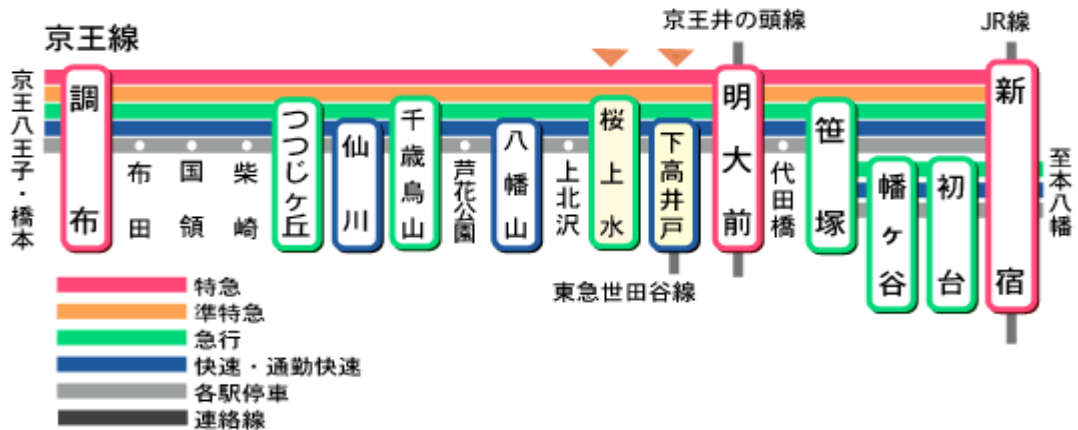
9 会場案内（日大文理学部HPからコピーしました。）

交通 京王線 下高井戸駅あるいは
桜上水駅下車、徒歩8分

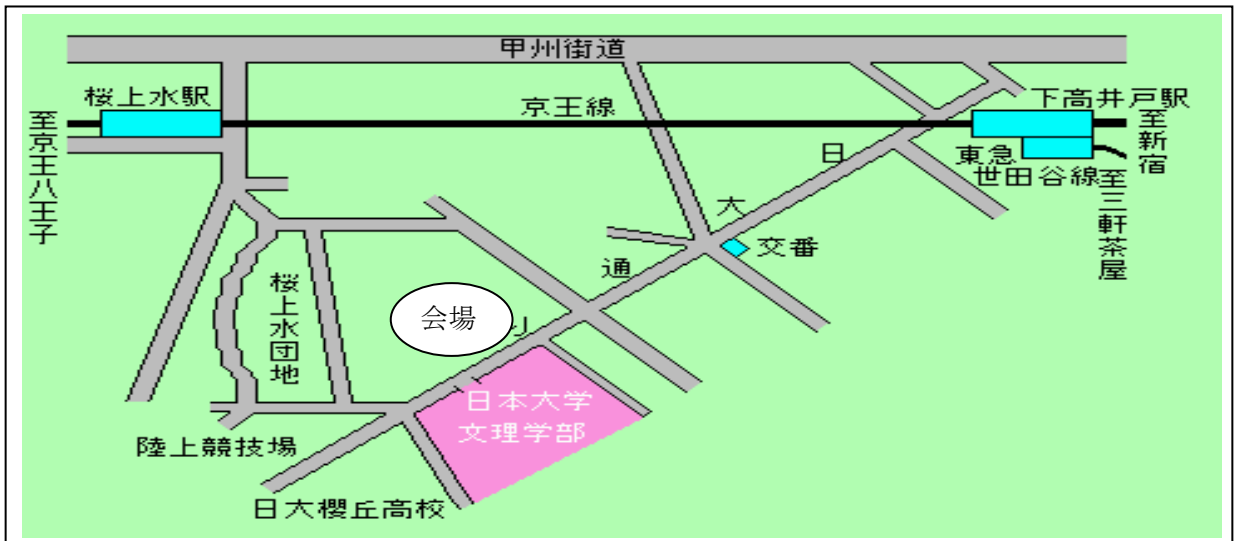
- 京王線新宿ー下高井戸間
・乗車時間：10分 ・料金：150円
- 京王線新宿ー桜上水間
・乗車時間：12分 ・料金：150円
- 小田急線豪徳寺ー世田谷線山下一下高井戸間
・乗車時間：5分 ・料金：130円



(写真：日本大学文理学部百周年記念館)



- ・ 会場の百周年記念館は日本大学文理学部の真向かいにあります。
- ・ 下高井戸駅から会場までは一本道で分かりやすいです。ただ下高井戸駅は急行が止まらないので各駅停車か快速に乗るよう注意が必要です。



当研究会ホームページをご覧ください。

www.deaf.or.jp/tc

